学校番号	１００９

令和３年度　芸術科

教科	芸術科	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２(日本文教出版株式会社)						
副教材等	な　し						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰで学んだことを生活において実用的に使えるよう、表現では自己や社会などを深く見つめた主題にしている。また、それぞれの表現の原理を解説することで、美術文化について理解を深めることができるよう指導する。
・鑑賞では、他者の作品を鑑賞し意見を交換することで、作品や作者の個性などについての多様な見方ができるようになり、個性豊かな美術の能力を高められるよう指導する。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 レポート ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子 作品	ワークシート アイデアスケッチ等の下絵 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	鑑賞活動やグループワークシート アイデアスケッチ等の下絵 作品 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	レタリング基礎	【デザイン】 ワークシートでレタリングの基礎を学び、練習する。 レタリングの基本に基づいてオリジナルのレタリングをデザインし、清書する。	○	○	○		a:レタリングの変容と目的・効果に関心を持ち、創作に意欲を高めている。 b:レタリングの基礎に基づいて、デザインによる効果を踏まえたうえで独自性のあるデザインにチャレンジしようとしている。 C:直定規による溝引きを効果的に行い、表現にあった使用をしているか。	ワークシート 制作途中の作品 作品
	貝高フェスタのポスター制作	【デザイン】 アイデアスケッチ モチーフ選びや構成を考える。 制作 今まで学んだ技法を効果的に使い、制作する。	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:ポスターの目的や条件、用途などを考えて表現することに関心を持ち、制作に意欲を高めている。 b:目的や条件を満たすとともに、画材や表現形式の特性、モチーフや構成、配色の効果も考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特徴を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:ポスターの目的、機能を知り、美術による伝達の働きについて理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品
	モダンテクニック	【絵画】 ワークシート 技法の名前や、やり方を学ぶ。 制作 アクリル絵の具を使い、デカルコマニーやスパッタリングなどのモダンテクニックを行う。	○ ○	○	○	○ ○	a:絵の具の技法や多様な表現に関心を持ち、絵の具での制作に意欲を高めている。 b:想像力を働かせ、表現形式の特徴を生かして、配色を工夫するなど創造的な表現の構想を練っている。 c:材料や用具の特徴を生かし、表現方法を工夫している。 d:技術の名前や表現方法を理解できている。	ワークシート 制作途中の作品 作品

後期	コラージュを使った自画像	【絵画】 制作 モダンテクニックや雑誌等を使い、コラージュを行う。 それぞれの素材の良さを生かすよう指導する。	○	○	○	○	a:コラージュの多様な表現に関心を持ち、制作に意欲を高めている。 b: 各自で、しっかりとしたテーマを決め、想像力を働かせ、表現形式の特徴を生かして、形体や色彩、構成などを工夫し創造的な表現の構想を練っている。 c:素材の特徴を生かし、表現方法を工夫している。 d: コラージュの特徴や技法による抽象表現の魅力を理解している。	制作途中の作品 作品
	立体表現（ことば）	【描写･デザイン】 主題となる言葉から連想し、クロッキーでイメージとデザインを整える 制作 決められた大きさのケント紙から主題からイメージした立体を美しく構成する。	○ ○	○ ○	○ ○		a:主題から自らの世界観を作ろうと意欲を高めている。ことばと表現の関係性に着目し、自らの答えを出せるアプローチを持っている、または工夫しようとしている。 b:イメージ・連想・構想のバランスが取れている表現ができているか。 c:ケント紙の性質を活かした表現になっているか。鑑賞者に伝える表現を目指す工夫をしているか。	ワークシート クロッキー 作品
	芸術鑑賞	【鑑賞】 レポート 貝校フェスタで展示されている作品の感想やアドバイスを書く。	○	○		○	a:芸術作品に関心を持ち、理解しようとする姿勢があるか b:思考力を働かせ作者の意図を感じ取れるか。 d:作品から技術や技法を理解している。	レポート 鑑賞活動の様子

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。